

## DAMワークショップ

日 時：11月21日(木) 第1回目 8:30～11:30, 第2回目 15:30～18:30

会 場：ハンズオン会場2(京王プラザホテル 本館43F ムーンライト)

企 画：日本臨床麻酔学会教育委員会

責任者：山口 重樹(獨協医科大学医学部麻酔科学講座)

コンセプト：日本麻酔学会気道管理ガイドラインの理解を深め、必要な手技について実践する。

インストラクター(五十音順)：

### 【第1回】

安心院純子, 五十嵐 寛, 江島 豊, 小澤 章子, 川越いつみ, 木村 哲朗, 古谷 健太,  
松島 久雄, 宮崎 直樹, 望月 利昭, 山口 重樹, 山瀬 裕美

### 【第2回】

生田 義浩, 井本 真帆, 太田 淳一, 楠 真二, 合谷木 徹, 齋藤 朋之, 鈴木 智文,  
瀬尾 憲司, 中西 俊之, 中山 禎人, 羽場 政法, 福田 征孝, 水本 一弘, 山口 重樹

### セミナー概要

安全な麻酔導入のための気道管理ガイドラインが日本麻酔学会より発表され、全身麻酔導入時の麻酔導入時換気状態の診断と分類、麻酔前気道評価と麻酔導入方法ならびに気道確保器具の選択、全身麻酔導入後の気道管理戦略等が明確に示されています。このガイドラインの中で最も重要な項目は「麻酔導入時の日本麻酔学会気道管理アルゴリズム(JSA-AMA)」であり、換気の危機的状況に応じた対応策が示されている点です。日本臨床麻酔学会DAM教育インストラクターが中心となって企画したDAM(Difficult Airway Management: 困難気道管理)ワークショップでは、本邦で使用可能な気道確保のためのさまざまな器具とシミュレーター(人形等)を揃え、DAMに遭遇した際のさまざまな対処法(マスク換気、声門上器具を用いた危機対応、ビデオ喉頭鏡や気管支ファイバーを用いた挿管、輪状甲状間膜穿刺等)を参加者に実践していただき、ガイドラインの主旨やJSA-AMAの理解を深めてもらいたいと考えています。安全な麻酔導入のための気道管理について、麻酔科修練医にとっては知識と経験の整理の機会となるはずですが、また、専門医の先生にとってもブラッシュアップの良い機会となると思います。尚、本ワークショップでは、分離肺換気についても実施する予定です。

申 込：事前登録制

定 員：各回50名

受講料：3,000円

## 適切な筋弛緩モニタリングのためのハンズオンセミナー

日 時：11月21日(木) 15:30～18:30

会 場：ハンズオン会場1(京王プラザホテル 本館43F スターライト)

責任者：鈴木 孝浩(日本大学医学部麻酔科学系麻酔科学分野)

オブザーバー：中塚 秀輝(川崎医科大学総合医療センター麻酔・集中治療科)

インストラクター：

岩崎 肇(旭川医科大学麻酔・蘇生学講座)

藤本 昌史(熊本大学大学院生命科学研究部麻酔科学)

羽間 恵太(広島大学麻酔科手術部)

### セミナー概要

筋弛緩薬は安全な気道確保、術野環境の向上化に貢献していますが、その投与方法、管理法によっては、術後残存筋弛緩に起因する上気道閉塞や肺炎、無気肺などの危機的合併症に繋がってしまいます。日本麻酔科学会は安全な麻酔のためのモニター指針の中で、筋弛緩薬や拮抗薬を投与する際の筋弛緩状態のモニタリングを推奨しています。同様に筋弛緩薬使用に関する診療ガイドラインがAmerican Society of Anesthesiologists (ASA)とEuropean Society of Anaesthesiology and Intensive Care (ESAIC)から2023年にそれぞれ発表されましたが、どちらも患者安全上、最重要である術後残存筋弛緩の回避に重きを置いて、そのための客観的モニタリングが推奨されています。現在、嬉しいことに本邦で使用できる四連反応比を測定できる客観的筋弛緩モニターは多機種に渡っています。ただし各機種の正確な使用法の情報提供の場や、各施設に合った機種を選定する機会はないのでは? 今回のセミナーでは、AF-101P/201P(電位感知型/加速度感知型:日本光電工業株式会社)、テトラグラフFTG2001(電位感知型:フクダ電子株式会社)、ToFscan(3D加速度感知型:センチュリーメディカル株式会社)、TwitchViewモニター(電位感知型:平和物産株式会社)、STIMPOD NMS450(電位感知型/加速度感知型 一体型:泉工医科工業株式会社)、TOF-cuff(カフ圧感知型:アイ・エム・アイ株式会社)全機種の操作説明の受講とハンズオンが可能です。本セミナーに参加して、客観的筋弛緩モニタリングをマスターしましょう!

申 込：事前登録制

定 員：30名

受講料：無料

## 超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 初級コース

日 時：11月22日(金) 8:30～11:30

会 場：ハンズオン会場1(京王プラザホテル 本館43F スターライト)

責任者・コーディネーター：中本 達夫(関西医科大学麻酔科学講座)

インストラクター：

山本 俊介(大分大学医学部麻酔科学講座)

末竹荘八郎(国家公務員共済組合連合会佐世保共済病院麻酔科)

属 絵理子(周南記念病院麻酔科)

中本 達夫(関西医科大学麻酔科学講座)

三浦 大介(佐賀県医療センター好生館麻酔科)

久住 映子(塩田病院麻酔科)

橋本 篤(名鉄病院麻酔科)

近藤 竜也(藤沢市民病院麻酔科)

松尾 敬介(琉球大学病院麻酔科)

絹川 友章(名古屋記念病院麻酔科)

佐藤 祐子(名鉄病院麻酔科)

### セミナー概要

周術期管理に用いる基本的な神経ブロックとしての『Plan A』ブロックを中心に、座学+実技を含めたコースです。

本コース受講により、日本区域麻酔学会認定ワークショップ受講単位10単位が取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：24名

受講料：5,000円

## 日本医学シミュレーション学会認定 第147回 DAM(困難気道管理)コース

日 時：11月22日(金) 8:30～11:30

会 場：ハンズオン会場2(京王プラザホテル 本館43F ムーンライト)

責任者：小澤 章子(国立病院機構静岡医療センター麻酔科・集中治療部)

インストラクター：

木村 哲朗, 寺嶋 克幸, 佐藤 暢夫, 安心院純子, 五十嵐 寛, 生田 義浩, 井本 真帆,  
岩下 眞之, 江島 豊, 日下あかり, 楠 真二, 小林 充, 小林 賢輔, 瀬尾 憲司,  
古谷 健太, 水本 一弘, 山田 直人, 渡部 達範

### セミナー概要

近年、気道管理器具や医薬品の進歩により気道確保の安全性が向上してきましたが、困難な気道確保症例がゼロになったわけではなく、日常的に気道管理を担っている麻酔科医は、いつ、どのような場面で困難気道症例に遭遇するかはわかりません。そのため、常に気道管理に関して修練を積み重ね、いざという場面に備えておくことが重要です。本セミナーでは、日本麻酔科学会(JSA)のDifficult Airway Management(DAM)アルゴリズムの考え方を基に実践的な技術や知識の習得を目標にハンズオントレーニングとシナリオトレーニングを行います。今回はウェットラボとして、豚の喉頭を用いた緊急外科的気道確保手技を準備いたしました。安全な気道確保のための正確な判断と適切な対応を習得したり、ご自身が体験した気道確保困難症例の振り返りを行う機会としてご活用ください。2004年の開講以来、麻酔科医を中心に約2,000名の医師が日本医学シミュレーション学会主催の本セミナーを受講し、インストラクターと共に全国の仲間との連携を深める場にもなっています。患者様への安全な医療提供を目指して、気道確保について一緒に学びませんか。

申 込：事前登録制

定 員：12名

受講料：3,000円

## 超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 上級コース 上肢ブロック

日 時：11月22日(金) 13:20～14:20

会 場：ハンズオン会場1(京王プラザホテル 本館43F スターライト)

責任者：中本 達夫(関西医科大学麻酔科学講座)

コースリーダー：中島 邦枝(群馬県済生会前橋病院)

インストラクター：

刈辺 誠(医療法人銀河 Az クリニック麻酔科)

久米村正輝(豊岡整形外科病院)

新屋 苑恵(岐阜大学医学部附属病院麻酔科疼痛治療科)

逢坂 佳宗(行徳総合病院)

湯本 正寿(日本大学医学部麻酔科)

肥田野求実(東京北医療センター麻酔科)

山崎 亮典(和歌山県立医科大学麻酔科学講座)

武田 敏宏(香川大学医学部麻酔科学講座)

### セミナー概要

上肢神経ブロックのうち、より専門的な『Plan BCD』ブロックとして、鎖骨上腕神経叢ブロック+肩甲上神経ブロック、上肢末梢枝ブロックの習得を目標としています。

本コース受講により、日本区域麻酔学会認定ワークショップ単位 実技1時間が取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：30名

受講料：3,000円

## 超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 上級コース 下肢ブロック

日 時：11月22日(金) 14:40～15:40

会 場：ハンズオン会場1(京王プラザホテル 本館43F スターライト)

責任者：中本 達夫(関西医科大学麻酔科学講座)

コースリーダー：渡邊 至(国家公務員共済組合連合会横浜南共済病院)

インストラクター：

土井 克史(埼玉医科大学病院麻酔科)

黒木 俊介(おおたかの森病院麻酔科)

堀田 訓久(自治医科大学附属病院麻酔科)

吉山 勇樹(長野赤十字病院麻酔科)

宮崎 直樹(国立病院機構熊本医療センター麻酔科)

杉浦 健之(名古屋市立大学大学院医学研究科麻酔科学・集中治療医学分野)

山本 俊介(大阪大学大学院医学系研究科麻酔・集中治療医学教室)

鈴木 興太(浜松医科大学医学部附属病院麻酔科)

深田 祐作(星総合病院麻酔科)

### セミナー概要

下肢神経ブロックのうち、より専門的な『Plan BCD』ブロックとして、鼠径上腸骨筋膜下ブロックと坐骨神経ブロック(傍仙骨～殿窩部)の習得を目標としています。

本コース受講により、日本区域麻酔学会認定ワークショップ単位 実技1時間が取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：30名

受講料：3,000円

## 超音波ガイド下神経ブロックハンズオンセミナー 上級コース 体幹ブロック

日 時：11月22日(金) 16:00～17:00

会 場：ハンズオン会場1(京王プラザホテル 本館43F スターライト)

責任者：中本 達夫(関西医科大学麻酔科学講座)

コースリーダー：川越 いづみ(順天堂大学医学部麻酔科学・ペインクリニック講座)

インストラクター：

田中 暢洋(奈良県立医科大学麻酔科学教室)

武田 泰子(愛媛県立中央病院ペインクリニック内科)

安楽 和樹(笛吹中央病院麻酔科)

木田健太郎(神戸大山病院麻酔科/ペインクリニック内科・外科/緩和ケア科)

鈴木 智文(JA三重厚生連三重北医療センターいなべ総合病院麻酔科)

佐藤 慎(東京都立小児総合医療センター麻酔科)

合谷木 徹(東京医科大学麻酔科学分野)

三枝 里江(群馬大学医学部附属病院麻酔・集中治療科)

### セミナー概要

体幹神経ブロックのうち、より専門的な『Plan BCD』ブロックとして、TPVB・ESPブロック・横突起間ブロック、胸筋間ブロック・前鋸筋面ブロックの習得を目標としています。

本コース受講により、日本区域麻酔学会認定ワークショップ単位 実技1時間が取得可能です。

申 込：事前登録制

定 員：30名

受講料：3,000円

## 麻酔科医向け J-CIMELS ベーシックコース (麻酔科医対象)

日 時：11月22日(金) 13:00～17:00

会 場：ハンズオン会場2(京王プラザホテル 本館43F ムーンライト)

主 催：日本母体救命システム普及協議会(J-CIMELS)

責任者：狩谷 伸享(兵庫医科大学麻酔科学・疼痛制御科学講座)

インストラクター：

狩谷 伸享(兵庫医科大学麻酔科学・疼痛制御科学講座)

君塚 基修(札幌医科大学医学部麻酔科学講座)

橋井 康二(ハシイ産婦人科)

岡田 十三(愛仁会千船病院産婦人科)

清川 晶(倉敷中央病院産婦人科) 他

### セミナー概要

産科緊急手術や予定帝王切開、無痛分娩、麻酔科医がかかわる「産科麻酔」において、『もう少し産科の病態や考えを知っておきたい』と思ったことはないでしょうか？

麻酔科医は分娩に携わる医師の一人として、知識を共有し、わが国の産科医療の安全性向上へとつながることを期待されています。本学会で開催する麻酔科向けJ-CIMELSベーシックコースは、普段行っているベーシックコースを応用しています。シミュレーションでの役割は麻酔科医と想定し、総合病院内で発症した麻酔管理が必要となった周産期症例を取り上げています。

例えば、

■早剥で飛び込んできた超緊急帝王切開を大急ぎで麻酔したら、実は・・・

■妊娠高血圧腎症で緊急帝王切開になった症例で実は・・・

など、麻酔科医が出会う可能性のあるシナリオを用意しています。

学会での開催は今年で5回目になります。「シミュレーション講習ならではの、状況把握・判断能力やコミュニケーションスキルを学ぶことができる」、「色々なことを再確認できた」、「めったに出会うことのない症例を疑似体験できたことは良かった」など、受講後に感想をいただいています。ご参加をお待ちしております。

申 込：事前申込制

受講対象：日本臨床麻酔学会第44回大会に参加の麻酔科医

募集人数：12名

受講料：10,000円(別途コース登録料(認定料含む)3,000円)

募集期間：2024年9月3日(火)正午～10月2日(水)正午

受講決定：2024年10月14日(月)頃にマイページで確認

テキスト：メディカ出版 J-CIMELS公認講習会ベーシックコース

(赤本)テキスト母体急変時の初期対応(第3版)4,800円(税別)

その他：最新情報はJ-CIMELSホームページで確認のこと

お問い合わせ先：J-CIMELS(日本母体救命システム普及協議会) [jcimels@gmail.com](mailto:jcimels@gmail.com)



## X線透視下神経ブロック/超音波ガイド下神経ブロック モデルによる超音波ハンズオン

日 時：11月23日(土) 8:50～11:00, 受付：8:30(ペインセンター)

会 場：東京医科大学病院4階ペインセンター

責任者：大瀬戸清茂(東京医科大学麻酔科学分野)

講 師：

<透 視>：

「楽しくなるX線透視下神経ブロック-これだけはおさえておきたいコツと手技-」

柳原 尚(痛みの診療名古屋栄ペインクリニック院長)

岡田 寿郎(東京医科大学麻酔科学分野)

西山 隆久(東京医科大学麻酔科学分野)

大瀬戸清茂(東京医科大学麻酔科学分野)

<エコー>：

柴田 康之(名古屋大学大学院医学系研究科医学部医学科准教授, 手術部副部長)

白田 美穂(白田外科医院院長)

### セミナー概要

今回、日本臨床麻酔学会において、X線透視下神経ブロックとAI搭載の超音波ガイド下神経ブロックのハンズオンセミナーを同時開催するのは今回が初めてです。

X線透視下神経ブロックでは、透視人形を用いたハンズオン実技指導で実績のある柳原先生を中心に、「楽しくなるX線透視下神経ブロック-これだけはおさえておきたいコツと手技-」をテーマに、実際にブロック針を用いた実践的な指導を行います。

超音波ガイド下神経ブロックでは、多くのハンズオンセミナーで実績のある柴田先生が、モデルを用いたエコーハンズオンを分かりやすく解説します。又、AI搭載超音波装置(GE)の画像解析機能を活用し、より正確なブロックの実施も支援する手法を学びます。

両講師とも神経ブロックの豊富な経験と指導実績を有しており、受講者のレベルに合わせて丁寧に指導いたします。本セミナーでは、X線透視下および超音波ガイド下神経ブロックの手技を習得し、臨床現場で安全かつ効果的に神経ブロックを実施できることを目指します。

会場は、学会会場の京王プラザホテルから徒歩5分ほどの場所にある東京医科大学病院麻酔科・ペインセンターです。詳細な地図は、ホームページにてご案内いたします。

申 込：事前登録制

定 員：8名

受講料：3,000円

## 第31回日本麻酔・医事法制(リスクマネジメント)研究会

日 時：11月23日(土) 9:00～12:00

会 場：ハンズオン会場2(京王プラザホテル 本館43F ムーンライト)  
(日本臨床麻酔学会 第44回大会会場内)

会 長：長坂 安子(東京女子医科大学 麻酔科学分野 教授・基幹分野長)

### プログラム

シンポジウム：「医師の指示と看護師の責任」

座長：藤村 直幸(聖マリア病院 麻酔科)

長坂 安子(東京女子医科大学 麻酔科学分野)

1. 基調講演 「医師の指示と看護師の責任」

演者：荒井 俊行(荒井東京法律事務所)

2. 「麻酔科医として厚生労働省医政局出向の経験より」

演者：新井 悠介(横浜市立大学附属病院麻酔科)

休憩・ポスター閲覧

3. 「医師の指示を理解する」

演者：北川 裕利(滋賀医科大学麻酔学講座)

4. 「看護師の視点から」

演者：徳山 薫(東京大学医学部附属病院手術部)

休憩・ポスター閲覧

5. パネルディスカッション 「患者への正しいインフォームドコンセントとは何か」

総会

一般演題(ポスター閲覧)

## 日中麻酔セミナー

日 時：11月21日(木) 15:30～17:00

会 場：第6会場(京王プラザホテル 南館4F 錦)

座 長：Izumi Kawagoe

(Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Juntendo University, Faculty of Medicine, Graduate School of Medicine)

川越いづみ(順天堂大学大学院医学研究科麻酔科学, 疼痛制御学)

Min Yan(The Second Affiliated Hospital of Zhejiang University)

—演題・演者—

1. 「What's the best way to store hemodilutional autologous transfusion for preserving platelet function?」  
Junichi Saito(Department of Anesthesiology, Hirosaki University Hospital)  
齋藤 淳一(弘前大学大学院医学研究科麻酔科学講座)
2. 「Endotracheal Intubation in lateral position from basic to clinical」  
Hui Li(The First Affiliated Hospital of Zhejiang University)
3. 「Endothelial injury in critical illness and attempt clinical applications of NRF2」  
Yusuke Takei(Department of Anesthesiology and Perioperative Medicine, Tohoku University Hospital)  
武井 祐介(東北大学大学院医学系研究科麻酔科学・周術期医学分野)
4. 「Interpretation of guidelines for postoperative delirium」  
Jie Zhang(Department of Anesthesiology and Pain Medicine, Tongji Hospital, Tongji Medical College, Huazhong University of Science and Technology)
5. 「Selective MMP-9 inhibition alleviates painful diabetic neuropathy in mice」  
Yutaka Matsuoka(Department of Anesthesiology, Kyoto Prefectural University of Medicine (KPUM))  
松岡 豊(京都府立医科大学大学院医学研究科麻酔科学教室)